

長浜教区教化研修方針（対象年度：2015年度～2020年度）

念仏もうさるべし

— 愚者になりて往生す —

真宗同朋会運動が始まって50年以上が経過し、その間私たちはどのように聞法に励んできたのでしょうか。そして聞法によって一体何があきらかになったのでしょうか。仏とは何か。南無阿弥陀仏とは何か。そんな素朴な問いかけに、何ひとつ答えられない私たちがいます。

聞法によって仏・法・僧の三宝を確かめ、三宝を敬う生活が、一人ひとりに実現されることを願って次の3点を基本方針とします。

1 儀式を仏事の場に還す^{かえ}～仏に出遇^{であ}う

お内仏の前やお寺での儀式、同朋唱和（正信偈、念仏、和讃）や、同朋の会でのおしゃべりは仏に出遇^{もん}うための門です。どうかあなた自らが門扉をたたいてみてください。

- ・同朋唱和～家庭、寺院、別院で正信偈、念仏、和讃を三世代、四世代とともに。
- ・「同朋の会」の発足、継続、充実～お寺で交流。
など

2 地域と社会の問題が縁となる～仏に訪^{たず}ねる

なぜ本当に苦しいことが語れないのでしょうか。なぜ差別や社会的弱者の問題が生活の課題にならないのでしょうか。それらのことから私自身の日頃の生活の方向が問い直され、確かめられています。

- ・差別のこと（存在の平等）→ 部落、性、障害者、国籍、人種、文化……。
- ・被害を受けること（公と個の尊厳）→ 靖国、基地、原発、戦争、死刑……。
- ・おとなのこと → 介護、育児、教育、経済、後継、過疎、自死……。
- ・若者のこと → 家庭、学校、カルト、仕事、経済、結婚、自死……。
など

3 とともに歩む～仏に^{みちび}導かれる

日曜学校や御命日の集い、他寺院や他組への参拝、被災地支援活動を通じて世代や地域などの様々な枠組みを越えた交流を深めてみませんか。気付くことのなかった世界が、新しい生活の意義を与えてくれることでしょう。

- ・日曜学校から中高生への関わりづくり、そして成人式をお寺で。
- ・中高年世代が活躍できる場を寺院活動の中に開く。
- ・東北被災地支援活動の点検、継続。
- ・寺院・組・教区運営への女性の参画推進。
- ・教区、組、地区それぞれの教化活動における役割分担と整理。
- ・地域、宗派を越える交流。
など

教区教化委員会が提示する本方針を、各組教化委員会・各寺院で受けとめ、確かめ、伝えることを協議する場として、組教化委員会定例会、所属諸団体会議、月例寺院役員会、寺院同朋の会等を開催し、事業内容に反映し充実させていただくことを望みます。

〈 教化研修方針対象年度 6年度間 〉

- ・ 2015～2017 年度 教区・両別院御遠忌お待ち受け推進期間
(お待ち受け教化事業には従前の教区教化事業も含めて推進します)
- ・ 2018 年度 教区・両別院御遠忌厳修年度
- ・ 2019～2020 年度 教区・両別院御遠忌の点検と総括期間
※その後 2023 年には宗祖御誕生 850 年・立教開宗 800 年を迎えます。

2017年度の重点項目

御遠忌を迎えることの意義を確かめ合い、教区・組・寺院において、僧侶と門徒が一体となって、本願念仏の教えを聞信し相続していくため、次の事項を重点に取り組みます。

1. 「同朋の会」ならびに「指定同朋の会」の結成と充実に向けた教導・補導の養成と、組教導の研修。
2. 同朋教団の実現に向けた「男女共同参画」をテーマとした研修会の開催と、「月例寺院役員会」開催の推進。
3. 「解放特伝」等を通じた各組部落差別問題研修会の意義の再確認と、実施方法の点検見直し。